

2015年4月1日
在カンボジア 日本国大使館
国際協力機構（JICA）カンボジア事務所

＝プレスリリース＝
ベトナム・カンボジア・タイが一本の道路でつながります
～つばさ橋（ネアックルン橋梁）開通式～

4月6日（月）、無償資金協力事業「ネアックルン橋梁建設計画」（供与限度額2.39億円（詳細設計）＋119億4,000万円（本体））の開通式が執り行われます。同式典には、フン・セン首相、トラム・イウテック公共事業運輸大臣他関係閣僚、日本政府の代表者、隈丸優次駐カンボジア日本国大使、田中明彦 JICA 理事長、及び10,000人の住民が出席する予定です。

日本の協力で整備が進められている国道1号線は、ベトナム最大の都市ホーチミンにつながるカンボジアで最も重要な幹線道路です。しかし、これまでこの道路は、ネアックルン地区でメコン河川により分断され、川を渡るにはフェリーを利用するしかありませんでした。通常フェリーの待ち時間は30分程度ですが、繁忙期には7、8時間待たなければならず、夜間はフェリーが運航を休止してしまうため、この地点はメコン地域における輸送の最大のボトルネックとなっていました。



写真：間もなく開通するつばさ橋

このような状況に対し、日本は2004年の開発調査から10年以上、メコン河川を渡る橋梁の建設を支援してきました。2羽の鳥が手を取り合い翼（つばさ）を広げているように見えることから、カンボジアと日本のさらなる関係の発展を祈って「つばさ橋」と名付けられたこの橋は、主橋梁640メートル、橋長2,215メートル、取り付け道路を合わせた全長は5,400メートルにも及びます。4月6日の開通式後は、昼夜問わず待ち時間なくメコン河川を渡れるようになり、近隣住民のみならずメコン地域全体の人々にとって、さまざまな場所へのアクセスが大きく改善される見込みです。

工事サイトで見つかった4,000発以上の不発弾や、雨季と乾季で7メートルも変わるメコン河川の水位など、さまざまな困難を乗り越えてついに開通するつばさ橋は、同じくメコン河川を渡る橋として2001年に日本の協力で建設されたきずな橋とともに、地域の結節点としてカンボジアの物的・人的交流を支える役割を担うことが期待されます。

<関連案件のWebサイト>

“ODA見える化サイト”より

- ・ネアックルン橋梁建設計画

<http://www.jica.go.jp/oda/project/1060240/index.html>

- ・国道一号線改修計画（第1期～第4期）

<http://www.jica.go.jp/oda/project/1360610/index.html>（第4期）

<プレスリリース問い合わせ先>
在カンボジア日本国大使館 實取、千葉
電話番号 +855-23-217-161
FAX +855-23-214-330

別添：プロジェクト位置図

